

令和2年度 青臨技感染制御部門 精度管理調査実施要項

I. 概要と試料の取り扱い

1. 実施項目

今年度の精度管理調査は、一般細菌同定・薬剤感受性検査とフォトサーベイです。回答は貴施設で実施可能なものについて記載してください。また、アンケートについて可能な範囲で回答をお願いします。

試料	同定検査	薬剤感受性検査	フォトと設問からの推定など	アンケート調査
試料 1	○	○		
試料 2	○	○		
フォトサーベイ			○	
アンケート				○

2. 試料の取り扱い

試料 1、試料 2 はシードスワブ（栄研）にて配布しています（各 1 菌種）。設問文より適切な培地を選択し、試料到着後、直ちに培養を開始してください。

発育が全く認められない場合や、2 菌種以上発育した場合は、再度試料を配布いたします。その他不明な点についてはご連絡ください。

検体の取り扱いに注意し、感染管理に十分配慮して実施してください。検査終了後は、菌株、培地、使用機材等、各施設の規則に従って適正に処分、廃棄してください。

II. サーベイ実施内容

1. 同定・薬剤感受性検査

【試料 1】

症 例 : 80 代 女性

患者情報 : 数日前から食欲低下、本日朝より発熱と呼吸困難感を訴えたため受診。SpO₂ の低下と、胸部レントゲン検査で右下肺野にすりガラス影を認めた。痰培養、尿培養、血液培養を提出したのち、誤嚥性肺炎の診断で CTRX 投与開始。既往として 7 年前に大動脈弁狭窄症による大動脈弁置換術（人工弁）を施行している。

微生物検査 : 入院時の血液培養 2 セット中 1 本からグラム陽性球菌が分離された。

設問 1 - 1 : 貴施設の日常検査法によって菌を分離し、同定・薬剤感受性検査（PCG、MPIPIC、CFX、VCM）を実施してください。薬剤感受性の判定は、Clinical and Laboratory Standards Institute（CLSI）M100-30th Edition の基準を用いてください。

設問 1 - 2 : 菌種判明後、主治医より「1 本のみ陽性だしコンタミですよね？」との問い合わせ

があった。質問に対する回答を記入してください。また、その他コメント（推奨する追加検査、抗菌薬の選択、感染対策など）があれば記入してください。

【試料 2】

症 例 : 20 代 女性

患者情報 : 3 日前より尿の混濁と残尿感を認めたため受診。尿定性検査を実施したところ、亜硝酸塩 (+)、白血球エステラーゼ反応 (3+) であったため、尿培養が提出された。基礎疾患および特記事項はない。

微生物検査 : 尿 (中間尿) からグラム陰性桿菌が分離された。

設問 2 - 1 : 貴施設の日常検査法によって菌を分離し、**同定・薬剤感受性検査** (ABPC、CEZ、CFPM、LVFX) を実施してください。薬剤感受性の判定は、Clinical and Laboratory Standards Institute (CLSI) M100-30th Edition の基準を用いてください。

2. フォトサーベイ

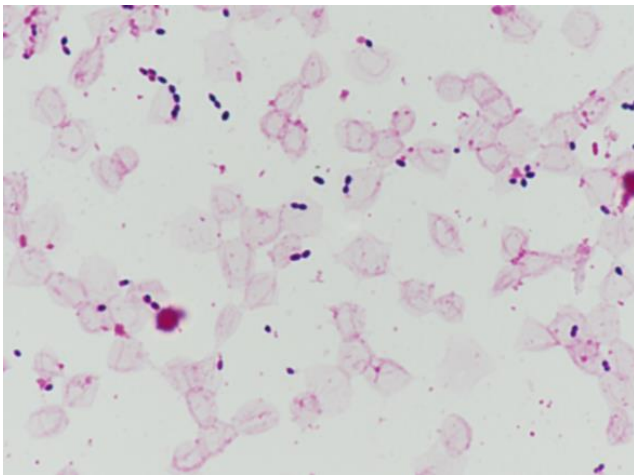
以下の患者情報、染色所見より各設問に回答してください。

【設問 1】

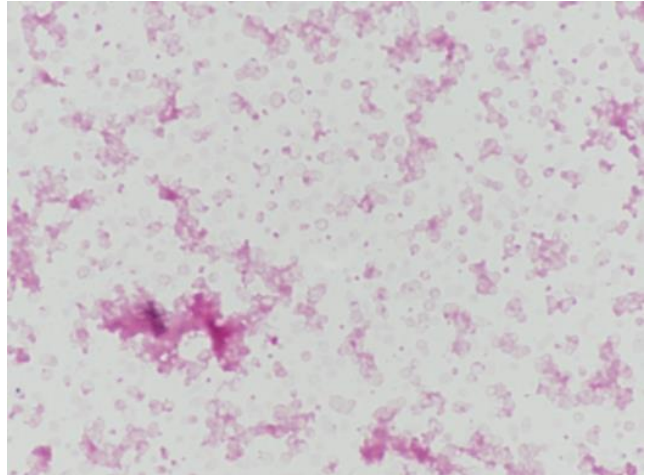
患者情報	80 代男性。胃癌の既往あり。2 週間ほど前に感冒症状のため近医を受診し、解熱鎮痛薬を処方され内服継続していたが、症状改善無く意識障害を認め救急搬送となった。来院時ショック状態であったため、敗血症を疑い血液培養 2 セット採取後、PIPC/TAZ 投与開始。入院時に肺炎を認めたものの、他に明らかな感染源はなし。入院時に採取された血液培養 2 セット 4 本全てが培養約 8 時間で陽性となり、本菌が検出された。
微生物検査	血液培養陽性ボトルの培養液のグラム染色所見をフォト 1-A (1000 倍)、培養液 1mL に 10%デオキシコール酸ナトリウム液を数滴滴下し 5 分静置後のグラム染色をフォト 1-B (1,000 倍) に示す。

問 題 1	推定される微生物を回答してください
問 題 2	コメント（追加検査、抗菌薬、感染対策など）があれば記入してください。

フォト 1-A



フォト 1-B

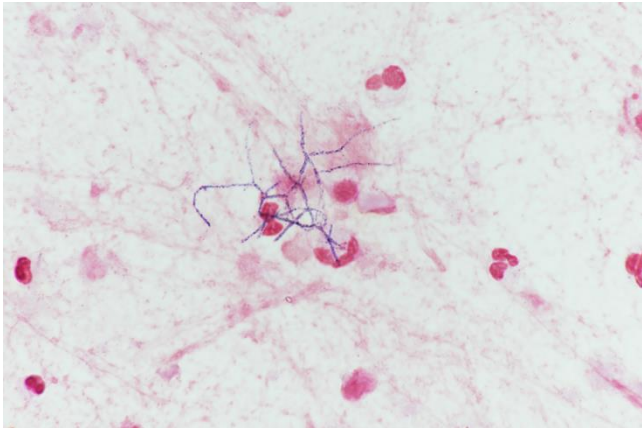


【設問 2】

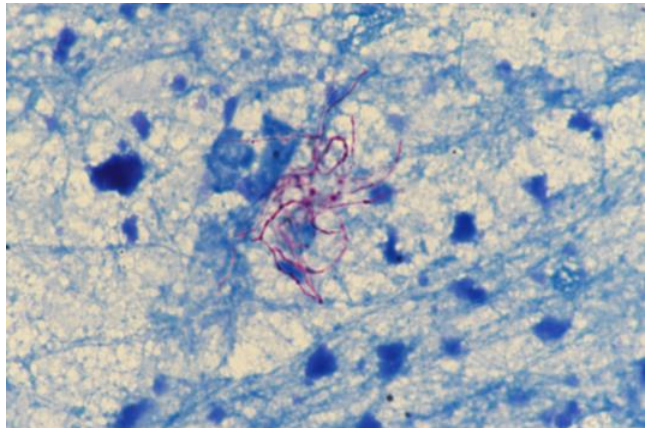
患者情報	80 代男性。主訴は発熱と呼吸苦。SpO2 低下と意識障害のため救急搬送となった。来院時の胸部 CT 検査で左上肺野に空洞を伴う腫瘤状影を認めた。肺炎の診断加療目的のため、喀痰培養を施行し、ABPC/SBT で治療開始した。
微生物検査	喀痰のグラム染色所見をフォト 2-A(1,000 倍)、Kinyoun 染色所見をフォト 2-B(1,000 倍) に示す。

問題 1	推定される微生物を回答してください
問題 2	コメント（追加検査、抗菌薬、感染対策など）があれば記入してください。

【フォト 2-A】



【フォト 2-B】

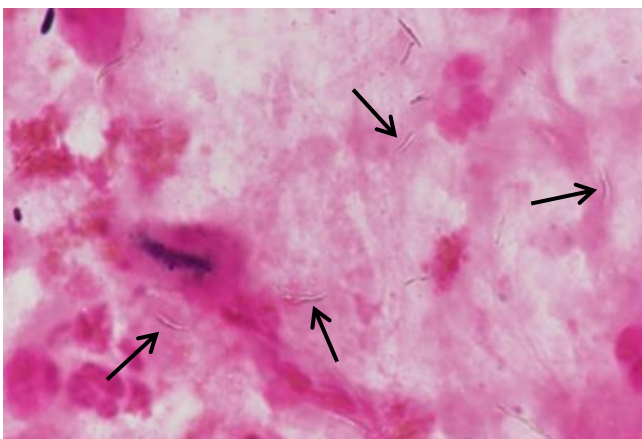


【設問 3】

患者情報	20 代男性。3 年前から慢性的な咳嗽があり、2 週間前より急激に体調が悪化。昨日から呼吸苦により歩行も困難となったため前医を受診。重症呼吸不全として救急搬送となった。胸部 CT で両側肺野に空洞病変を多数認めたため、喀痰培養が施行された。小児期に喘息の既往があるが、現在は吸入薬の使用はない。
微生物検査	喀痰のグラム染色所見をフォト 3-A (1,000 倍) に示す。ガラス片のように抜けて見える菌体のようなもの（図中矢印）が多数観察された。

問題 1	推定される微生物を回答してください
問題 2	コメント（追加検査、抗菌薬、感染対策など）があれば記入してください。

【フォト 3-A】

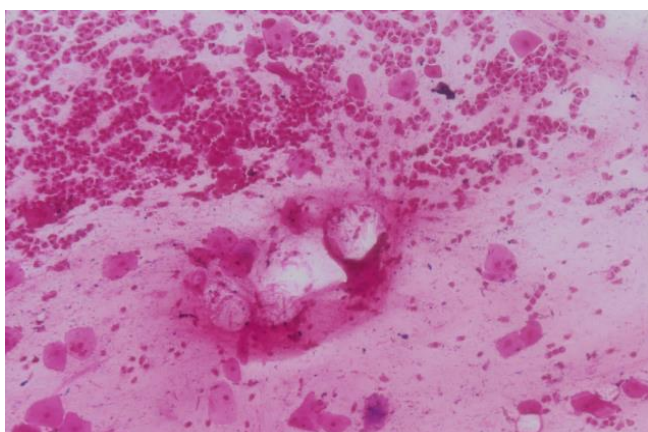


【設問 4】

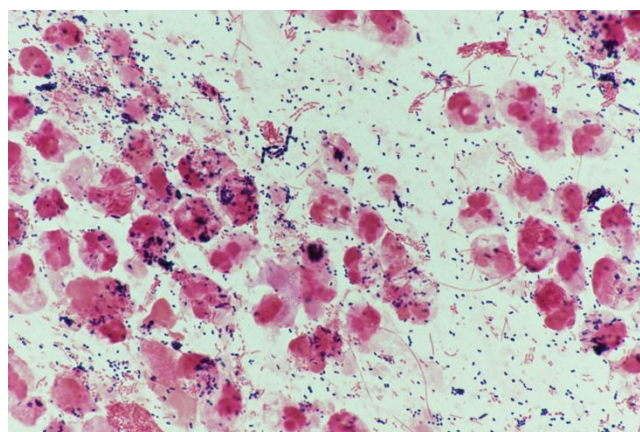
患者情報	70 代男性。脳梗塞で入院中。昨夜より 38℃の発熱と呼吸数の増加が見られ、痰吸引を施行。多量の膿性痰を認めたため、肺炎の診断加療目的で培養提出。肺炎として CTRX で治療開始した。
微生物検査	気管内吸引痰のグラム染色所見をフォト 4-A (100 倍)、フォト 4-B (1,000 倍) に示す。

問 題 1	推定される 病態 を回答してください
問 題 2	コメント（追加検査、抗菌薬、感染対策など）があれば記入してください。

【フォト 4-A】



【フォト 4-B】

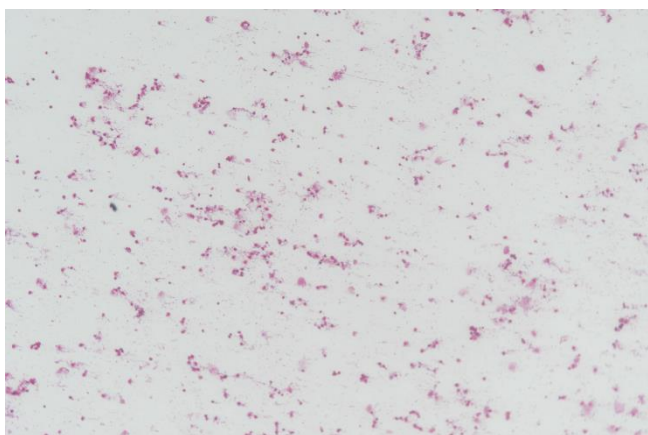


【設問 5】

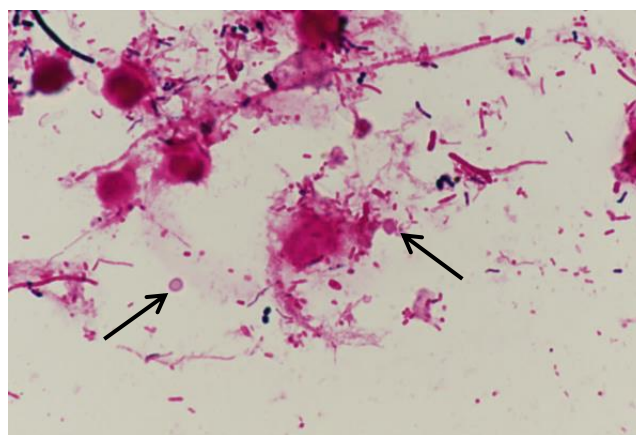
患者情報	70 代女性。3 年前に直腸ポリープ切除術の既往あり。排尿困難と残尿感を主訴に近医受診。急性膀胱炎としてレボフロキサシンを処方されるも改善無いため、紹介受診。来院時に採取した尿で混濁と悪臭を認めたため、尿路感染症を疑い尿培養が施行された。
微生物検査	中間尿のグラム染色所見をフォト 5-A (100 倍)、フォト 5-B (1,000 倍) に示す。雑多な菌とともに、淡紫色に染まる無構造物質（図中矢印）を認めた。

問 題 1	推定される 病態 を回答してください
問 題 2	コメント（追加検査、抗菌薬、感染対策など）があれば記入してください。

【フォト5-A】



【フォト5-B】



3. アンケート調査

診断支援 (Diagnostic stewardship) に関するアンケートです。可能な範囲で回答をお願いします。選択肢の“その他”を選んだ場合は具体的に入力してください。

1-1. 臨床検査技師が微生物検査に関連した検体採取業務を実施していますか？

- ① 実施している
- ② 実施していない

1-2. 「① 実施している」と回答したご施設は、どのような業務に携わっているか記入してください。

()

2-1. 検体の質の評価を実施していますか？

- ① 実施している
- ② 実施していない

2-2. 「① 実施している」と回答したご施設は、その内容と評価基準 (例；喀痰で M&J 分類 M2 以下は不適検体 など) について記入してください。

()

2-3. 「①実施している」と回答したご施設に質問です。検体が検査に適していないと判断した場合、どのような対応をしていますか？

- ① 再採取を依頼する
- ② 不適である旨を主治医等へ報告し検査は実施する
- ③ 評価のみ行い、特に主治医等への報告はせず検査を実施する
- ④ その他 ()

3. 微生物検査で速やかに主治医や関連部署に報告している事項 (パニック値など) を選択してください。(複数回答可)

- ① 無菌材料（血液、髄液、胸水など）で菌を認めた場合
- ② 感染対策上重要な菌（結核菌、多剤耐性菌など）が検出された場合
- ③ 無効な抗菌薬を使用している場合
- ④ 医療関連感染（CAUTI、VAP、SSI など）が疑われる場合。
- ⑤ その他（)

4. その他貴施設で診断支援に関する取り組みがあれば記入してください。
()

Ⅲ. 回答について

回答は下記 QR コードまたは青臨技ホームページ上の回答フォーム（Google フォーム）にてお願いします。インターネット環境の無い施設はお手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

回答フォーム

<https://forms.gle/fPhpTXcLMuREWh3dA>

連絡先 八戸市立市民病院 臨床検査科 金澤雄大

電話 : 0178-72-5111 (内線 2430)

Email : kensa_bact@mx2.hospital.hachinohe.aomori.jp